

令和2年度第4回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和3年3月24日（水）

午後2時から

場所：弥富市役所本庁舎3階 大会議室

○議 事

1.開会

事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none">・ただいまから、令和2年度第4回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。・本日の協議会は委員総数20名のうち15名のご出席をいただいております、協議会規約第9条第1項に定める半数以上の定数に達しているため、会議が成立していることをご報告する。・当協議会は協議会規約第9条第3項により、会議を公開とさせていただきますが、本日の傍聴者はいない。
---------------	---

2. あいさつ

事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none">・初めに、安藤弥富市長よりご挨拶を申し上げます。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none">・本日は第4回目となる地域公共交通活性化協議会に、山崎先生をはじめ、委員の皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございます。・平素は市行政の推進に対して、それぞれのお立場でご支援、ご協力を賜っていることに心より感謝を申し上げます。・令和2年度も残すところ後1週間となった。桜の満開の便りも浮かべるこの頃であるが、依然として新型コロナウイルス感染症の終息には至っていない状況である。・弥富市においては、海南病院の方で、医療従事者に第1回目のワクチン接種が一通り終わったという報告を受けている。・弥富市においては、来月4月26日の週にワクチンが1箱届く。このワクチンについては、高齢者施設等々に優先的に接種していただくという計画をしている。・65歳以上の一般の方においては、3階の保健センターでの集団接種。また海南病院を含めた市内18の開業医の方で接種が出来る。予約時にはそのようにお伝えさせていただきたいと思っている。・いずれにしても、接種を希望する市民の皆様が安全・安心に接種出来るよう一丸となって取り組んで参るので、どうぞよろしくお願い申し上げます。・昨日、令和3年第1回弥富市の定例議会が最終日を迎えた。・令和3年度予算については、お認めをいただいたところである。・一般質問の方では、公共交通について大変厳しいご意見をいただいた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・そのことを踏まえ、今後の計画を立てていかなければならないと思っているところである。 ・本日は策定が最終となるわけだが、これまでに市民のワークショップ、市民アンケート、パブリックコメント等でご意見をいただいた。 ・この委員会においても、熱心にご協議いただいたことについて、計画を取りまとめていく。 ・最終になったが、引き続き慎重にご審議いただき、計画を策定していければと思っている。よろしくようお願い申し上げます。
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議資料の確認を事務局より願います。
事務局 (富居)	<p>会議資料の確認をする。 本日席上に配布させていただいた資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配席表 ・資料6：南部地域における通勤・通学・通院急行バス社会実験運行について ・あなたも次のステップへとあるスマートムーブの資料 ・玉野市乗合タクシー「シータク」の運行の資料 <p>こちらはタクシー協会様からいただいている。 こちらの4点がある。</p> <p>事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1：パブリックコメント実施結果について ・資料2：弥富市地域公共交通計画案 ・資料3：弥富市地域公共交通活性化協議会規約 ・資料4：令和3年度弥富市地域公共交通活性化協議会 事業計画(案) ・資料5：令和3年度弥富市地域公共交通活性化協議会 予算(案) ・参考資料1：利用者実態調査結果 ・参考資料2：令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について ・参考資料3：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿 <p>がある。不足等はないか。</p>
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料3の協議会委員名簿をご覧いただきたい。 ・今回より委員が変わられた方がいるのでご紹介させていただく。 ・愛知県交通運輸産業労働組合協議会 議長 八代俊夫様である。 ・本日は代理で楠様にご出席いただいている。 ・以降の議事を山崎先生に願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・大分温かくなってきた。コロナも緊急事態宣言の期間は終わったが、感染予防に努めながら生活していく世の中がまだまだ続いていく。 ・バスの利用者が減り、8割・9割くらいまで戻ってきたような状況だったが、また緊急事態宣言で落ちてしまったということを繰り返している。 ・人々の生活が大きく変わってくるが、車が運転出来ない高齢者にとって、

	<p>バスは大切な外出のための手段である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1番利用者が減った時も、40～50%の方々は利用し続けていた。 ・そういった方々のために、今日新しい計画を策定することになる。 ・弥富の公共交通をより良いものにしていくために、皆様のご協力をいただきたいと思う。
--	--

3.議題

(1) 弥富市地域公共交通計画について

- ・パブリックコメント実施結果について
- ・弥富市地域公共交通計画について
- ・協議会規約の変更について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議題 (1) ～ (3)、その他も入れて4つある。 ・最初に弥富市地域公共交通計画ということで、以前、「網形成計画」という名称であったが、前回の会議で「地域公共交通計画」とシンプルにした方がいいのではないかとということで、事務局の方でこの名称を使っていくと最終案が出ている。 ・この中身が、パブリックコメントをやられた結果。そして公共交通計画の今までいただいた意見を踏まえた修正版。それから協議会の規約の変更ということで、資料1～3までの説明を事務局に願います。
事務局 (富居)	<p>○資料1説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1のパブリックコメント実施結果について説明する。 ・令和3年1月13日(水)～令和3年2月12日(金)の1ヶ月間に渡りパブリックコメントを実施して意見を募集した結果、2人の方から2件の意見が提出されている。 ・1件目、収支改善に向けた具体的な対策案を頂いている。コースの抜本的な見直しとして、幹線のような直線的なルートに変更し、拠点バス停にタクシーを配置した路線網への変更、休日の市内観光地ルートの設定、イベントの展開などとなっている。 ・この意見に対する市の考え方案を読み上げる。 ・現在のコミュニティバスの運行については、バス停が点在していることや左回りと右回りの循環型となっていることから、幹線(直線)型のような路線にすることは難しい状況にある。 ・また、北部、南部、東部の3ルートで運行をしており、利用目的や利用者層もそれぞれ地域特性があり、運行方法に関してそれぞれでの見直しが必要であると感じている。 ・そのような中、令和元年度に行った住民意見交換会やアンケート調査でご意見が多かった南部ルートの通勤・通学のための急行便について、令和3年度に社会実験運行を行う。また、地域特性に応じた利便性の高い地域公共交通となるよう、各地域のご意見を伺いながら各ルートの再編を行う。計画のP136、137に記載がある。 ・ご提案いただいた改善策については、再編の検討を行っていく上で、参考とさせていただきます。

- ・次に2件目、P4からとなる。
- ・これも同じような意見ではあるが、岡山県玉野市の視察結果を踏まえ、幹線バス路線と乗合タクシーを組み合わせた路線網への提案となっている。
- ・この意見に対する市の考え方の案を読み上げる。
- ・玉野市の施策は大変参考になった。
- ・本市では、令和3年度から順次、各ルートの再編の検討を行っていく予定をしている。
- ・再編にあたり、効率的な運行ルートの検討や、デマンド等運行方法の変更も念頭に置きながら検討していく。
- ・なお、検討にあたり、地域特性や利用特性に応じた使いやすい運行方法とするためにも、住民意見交換会等により地域の意見をしっかりお聞きしていく。
- ・パブリックコメントの実施結果については以上となっている。
- ・玉野市の具体例の事例だが、当日配布資料にカラーで「玉野市乗合タクシー「シータク」の運行」があるので、こちらもご覧いただきたい。
- ・意見を踏まえた計画の修正は特にないものと考えている。
- ・意見に対する市の考え方についてご審議いただければと思う。

○資料2説明

- ・弥富市地域公共交通計画について、資料2をご覧いただきたい。
- ・パブリックコメントとは別に先回協議会の意見やその後委員から出された意見を基に修正した点を朱書きにしている。
- ・まず、計画名は「弥富市地域公共交通計画」に変更している。
- ・次にP1をご覧いただきたい。
- ・計画名の変更とともに、本計画が基づいている法律の施行年や、法に基づき位置づける内容の①を「持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針」から、新法の内容に合わせ「地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針」に表現を修正している。
- ・次にP123をご覧いただきたい。
- ・フィーダー系統の用語が分かりにくいということで、補足としてその解説を追加している。
- ・次にP140をご覧いただきたい。
- ・ささえあいセンターによる買い物支援サービスについて、道路運送法の適用条項について追記している。
- ・その他軽微な誤記などの修正もあわせて実施している。
- ・弥富市地域公共交通計画については以上となっている。
- ・これを持って計画策定の最終的なご審議をいただければと思う。

	<p>○資料3説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弥富市地域公共交通活性化協議会規約について、資料3をご覧ください。 ・ 計画名称が変更になっているので、それに合わせた改正となっている。 ・ また、第3条(5)については、市運営有償運送としていたものを法改正を踏まえ、自家用有償旅客運送に変更しており、本日の協議会をもって施行するものとしている。 ・ 該当箇所は朱書きにしている。 ・ 以上、3点についてご審議いただければと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただいま説明いただいた通り、パブリックコメントでかなり具体的な意見を寄せていただいている。 ・ この意見も踏まえて、市の考え方を示すとともに、計画書の中にも反映させているということである。 ・ 計画書だが、これまで何度も協議会の中で議論を重ねた。本日は、パブリックコメントの対応。それから前回の協議会でいただいた意見を反映させたということで、3点くらいの修正。赤色の文字で示されているところである。 ・ 何かご意見、ご質問あれば、願います。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のパブリックコメントの中で、事前に資料を配布させていただいた岡山県玉野市の事例。これがそのまま弥富市さんに適しているかどうかということは別にして、どのような事例か。文字だけでは分からないということで、全国ハイヤー・タクシー連合会が、全国のタクシーの取り組みをまとめた事例集から該当のページだけを抜粋してお配りさせていただいたものである。 ・ 事務局の方からご説明があったように、どのような見直しになるのかというのはこれからだと思うが、ぜひこういう形のタクシーを活用するようなものが有効であるならば、ぜひこういう方策をご検討いただきたいと考えている。 ・ 今、タクシーはコロナの影響で大変厳しい経営状況となっている。 ・ 昨年4月・5月がピークで3割・4割くらいまで営業収入が落ち込み、年末になると2回目の緊急事態宣言によって、更なるダメージを被っている。 ・ 新聞報道等でご覧になった方もお見えになると思うが、既に名古屋市内の事業者でも廃業するところが複数出ている。 ・ 当然、地方のタクシーも同じであり、今後タクシーが減っていく。事業所が減っていく。更には慢性的なドライバー不足ということもあり、車両が減っていく。こういうことが十分に想像される状況である。 ・ 民間事業者が経営する公共交通で、タクシーがもしこの地域から無くなってしまうと、これを地域の皆様方で代りを確保しようと思っても、到底不可能だと思うので、ぜひ民間事業者を上手に使っていただくことを、これからご検討をいただきたいと考えている。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・玉野市のシータク。タクシー協会さんから資料をご提供いただいた。 ・タクシー協会さんの方で導入事例集がある。これはネット上にも出ているのか。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国ハイヤー連合会のHPでも、私ども協会のHPでも出ているので、自由に閲覧が可能である。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な情報かと思う。どんな事例があるのか見ていただきたいと思う。 ・他にいかがか。特に修正があったところを中心にご意見があれば。 ・弥富市地域公共交通計画(案)ということで、今回この場でご審議いただき、案が取れるかどうか。今日ここで策定という形にするかどうかというところ。 ・ではお諮りしたいと思う。 ・パブリックコメントを受けて修正されたもの。それから計画名称が変わったので、協議会規約も変更致したということである。 ・これに関して、承認いただける方は、意思表示のために挙手をいただきたいと思う。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・全会一致で賛成いただいたので、公共交通計画の案を取っていただきたいと思う。

(2) 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題 (2) 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)についてということで、資料4、5。事務局からご説明をお願いします。
事務局 (富居)	<p>○資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算(案)について、資料4、5を基に説明する。 <p>○資料4説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4の事業計画(案)について説明する。 1. 弥富市コミュニティバス運行について。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月改正ダイヤによる運行を継続する。なお、国の「地域公共交通確保維持事業」という補助事業のうち、地域内フィーダー系統補助を活用し運行する予定である。 2. 運行評価について。 <ul style="list-style-type: none"> ・乗車人員調査を実施し、地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価を実施する。 3. 利用促進策の展開について。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している無料お試し乗車券の配布など、令和3年3月に策定した弥富市地域公共交通計画に位置づけられた利用促進策を展開する。 4. 令和4年度地域公共交通確保維持改善計画の策定について。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月に策定した弥富市地域公共交通計画のほか、これまでに策定してきた地域公共交通確保維持改善計画や令和2年度事業(自己)評価結

	<p>果、利用実態等を踏まえ、令和4年度地域公共交通確保維持改善計画を策定する。</p> <p>5. 南部地域における社会実験運行の検討・評価について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期社会実験運行の検討や運行、評価、第2期社会実験運行の検討、周知資料の作成、住民意見交換会を実施する。 <p>6. 南部ルートの再編検討について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期社会実験運行の結果や、第2期社会実験運行の内容等を踏まえ、南部ルートの運行方法や運行ルート、ダイヤ等も含めた再編を検討する。 <p>7. 運行時刻表の作成・印刷について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期社会実験運行や、鉄道、周辺自治体が運行するコミュニティバスのダイヤ改正を踏まえ、運行時刻表を作成・印刷する。 <p>8. 協議会の開催について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算・決算、運行の検証や弥富市地域公共交通計画の今後の見直しの方向性等の検討のため、協議会を開催する。 ・協議会の開催と作業の概ねのスケジュールなどを図に示している。協議会は計4回を予定しており、作業の進捗にあわせ、適宜開催していく。 ・また、調査の実施時期なども示しているが、今後の調整により変更となる場合もあるのでご了承いただきたい。 <p>○資料5説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予算(案)について、資料5を基に説明する。 ・まず歳入である。 ・1 負担金。弥富市負担金として、1億1,616万4千円。 ・4 諸収入。貯金利子 1千円。雑入、地域公共交通確保維持改善事業補助金事業者精算金として461万8千円。諸収入 計 461万9千円。 ・歳入 計 1億2,078万3千円。 ・続いて歳出である。 ・1 総務費。 ・1 総務管理費のうち1会議費 会議資料等として1万円。事務局費 振込手数料などとして4万円。 ・1 総務管理費 計 5万円。 ・2 諸費。 ・1 諸費 地域公共交通確保維持改善事業補助金事業者精算金・負担金精算返納金として461万8千円。 ・総務費 計 466万8千円。 ・2 事業費。 ・1 事業推進費。 ・1 事業推進費 バス運行事業・公共交通確保維持改善調査業務委託費として、1億1,516万4千円。 ・2 広報公聴費 時刻表・路線図等印刷費、啓発物品購入費として95万円。
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費 計 1億1,611万4千円。 ・3 予備費 1千円。 ・歳出 計 1億2,078万3千円となる。 ・令和3年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算（案）については、以上となる。 ・ご審議をよろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の本協議会での事業計画と予算(案)をご説明いただいた。 ・来年度は、事業計画の中にあるように、前回この協議会で報告してご意見いただいたりしていた南部地域での急行バスでの社会実験をやるということで、南部ルートで2期に分けて実験を行っていく。 ・今日後程これに関する議題もあるが、そういった事業が通常とは違うこととして、今回の目玉ということでは上がっている。 ・何かご意見、ご質問あれば、願います。 ・今回、南部ルートで、実証実験運行をやるということはお金がかかる。バスを1台走らせるわけである。通常例年の事業費予算と比べて、大体どれくらい今回増えたのか。
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の予算を確保する時に色々見積りをいただき、大体トータルとして1,200万くらい増える。 ・これはバスを借りるレンタル料や、運転手さんの人件費や、管理費。 ・また、運行していくにあたって、ダイヤを路線に組み込まなければならない。バスの中の案内やバス停の標示等、そういう諸々でそのくらい増える形になるかと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスレベルが上がるような実証実験なので、それなりに費用がかかるということである。 ・ただ、ニーズもあるわけであり、路線改編で皆さんがより便利に使っていただけるような路線に、全ルート順次改編していこうということであり、まずは来年度、実験的にやってみようということである。 ・何かご意見、ご質問等あれば願います。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の南部ルートの実験や、今後コミュニティバスの見直し等々を検討されるということだが、運行事業者については継続していくのか。またどこかでプロポーザルなりして変えていくなど、そういうことがあるのか確認させてほしい。
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・三重交通さんの方で事業委託しており、特に今のところ変更するという話は、市の方では出てきていない。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、事業者も不足しているという状況もあるので、なかなか難しいところだと思う。 ・たくさん事業者が入っているような地域なら、色々な事業者にやってもらうということが出来るだろうけれど。 ・他にいかがか。
高橋委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・南部地域における通勤・通学・通院急行バス社会実験運行ということであるが、第1期と第2期に分かれて、今年の9月1日から来年の3月31日。2

	<p>回目が来年の4月1日から8月31日までということであるが、少しお聞きしたいのだが、市の方の社会実験運行ルート案。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4で「社会実験運行ルート案」とあるが、南部コミュニティセンターから北上して、公共施設である鍋田支所。それから鍋田川の堤防を通過して森津から弥富市役所を通過して近鉄弥富駅というルートになっているわけだが、鍋田支所等で乗るお客様がどれくらいいるのか。 ・また、鍋田川の堤防自体が狭いので、今後大きなバスが運行で行きますと、交通事故等の関係もあるのではないかと。 ・今湾岸から鍋田干拓を通過して広い155号線バイパスが、ずっと計画になっているのだが、今はまだ鍋田干拓のところしか出来ていない状況である。 ・その状況がいつ頃になるかということも踏まえ、どうしても道路が狭いと事故が多いということで、南部コミュニティセンターからずっと北上して、鎌島を通過して平島のところへ抜けた方が、道路も広くて事故等も無いのではないかと。 ・今後の実験のルートについて、この通り鍋田支所を回って行くのか。その辺りをお聞きしたいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今いただいた質問に関しては、後程議題(3)の中で事務局から説明していただいた後に答えていただくことにする。 ・事業計画、それから予算(案)に関して、他に何かないかと。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画・予算(案)とは直接は関係ないが、計画の中にデマンド運行等というような記載も出てくる関係上、今日要望させていただきたいと思う。 ・福祉有償運送が現実にスタートし、そういう形の規約の改正も先程お認めいただいた状況であるが、国土交通省のガイドラインによると、福祉有償運送をやる場合には、タクシー事業者及びその団体というような書きぶりだった記憶がある。 ・私もタクシー事業者の団体だが、タクシー事業者がここにはいない。 ・タクシー事業者の参加のあり方について、国土交通省のガイドラインとの関係もあるが、一度事務局の方でご検討いただければと思う。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・確かにここの地区のタクシー事業者だと、近鉄タクシーさんがあると思う。そちらの方も参加していただくかどうか、事務局で相談して検討させていただきます。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・一度ガイドラインの方を確認してほしい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・仰る通りタクシー事業者にも出来れば協議会の場に足を運んでいただきたい。協会だけではなくて。 ・知立市の協議会は、タクシー協会の支部代表というふうに出てきているが、本当に事業者である。事業者で支部をやっている方が、事業者を兼ねて色々ご意見をいただいたりしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ、事務局に検討していただきたいと思う。 ・それでは、令和3年度弥富市地域公共交通活性化協議会の事業計画及び予算(案)に関しまして、お諮りしたいと思う。 ・こちら承認いただける方は挙手をお願いします。
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	・承認いただいたので、案を取り、この事業計画で来年度進めていただきたいと思いますと思う。

(3) 南部地域における通勤・通学・通院急行バス社会実験運行について

山崎議長	・議題(3) 南部地域における通勤・通学・通院急行バス社会実験運行についてということで、一度説明いただき、その流れの中でも結構なので、先程の高橋さんのご質問に答えていただきたいと思いますと思う。
事務局 (富居)	<p>○資料6説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部地域における通勤・通学・通院急行バス社会実験運行について説明する。 ・前回協議会でお示しさせていただいた事項から変更や追加した箇所を朱書きにしているの、その点を中心に説明させていただく。 ・まずP2の今後のスケジュール案をご覧ください。 ・今回は令和3年3月 第4回協議会として運行内容等について協議していただく会となっている。 ・次回、令和3年6月 第1回協議会で第1期運行について最後の議論をしていただき、9月からの運行開始に向けて手続きを進めることになる。 ・次にP4のダイヤ案をご覧ください。 ・きんちゃんバス運行事業者である三重交通のご協力により、バス車両による実走をしてダイヤを調整している。 ・また、夕方の便については、もう少し遅い時間にも対応するために20分から30分程度時間をずらし、駅から南部地域に向かう便だと、実験5便の近鉄弥富駅南口17:30発を17:50発に、実験7便の近鉄弥富駅南口18:40発を19:05発に、実験9便の近鉄弥富駅南口19:50発を20:25発に変更している。 ・最後にP6をご覧ください。 ・使用予定車両と方向幕の表示方法、内容について追加をしている。 ・車両は三重交通の車両を使用する予定となっている。 ・車両の大きさは現在の南部ルートを走行している中型ノンステップバスと同一車種となる。 ・また、前面などの行先には急行という表示も入れる予定となっている。 ・運行内容などについてご意見を頂ければと思う。
事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・先程のご質問。P3の「社会実験運行ルート案」の件であるが、例えば、南の方から行くと、南部コミュニティセンター、鍋田支所、弥富市役所、近鉄弥富駅という4つのバス停を想定しているものである。 ・まず、こちらのバス停に決めさせていただいたのが、昨年度ワークショップやアンケート等で、特に南部ルートに関わる方からのご意見という

	<p>ことで、その中で学区としては栄南学区、また大藤学区の方が中心であったが、その中で各地域の拠点となるようなところ。また、現在のバス運行ルートの中、バス停の中で、公共施設、また、サイクル&バスライド。自転車駐輪場があるようなところを拠点として考えた時に、栄南学区の中心拠点は南部コミュニティセンター。大藤学区の拠点となる鍋田支所ということを設定させていただいたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この南部コミュニティセンターから駅に向かう時に、北の方に上がって行く中で、鍋田支所を経由することになると、どうしても鍋田支所を通った後に、鍋田川の堤防を、細いところだが通って行くような形になってしまう。 ・例えば、鍋田支所へ行って、そこから引き返す、Uターンや迂回することが出来るかという、その辺りの道路事情もあり、なかなか別ルートには行きづらい状況がある。どうしても真っ直ぐ進んでいくと、こういう状況になってしまうものである。 ・こちらとしては、この案を出させていただいたのは、そういったような経緯からこのルートを定めてはいるが、ただ、急行便という名前でやらせていただく関係で、時間の短縮ということも求められるかと思う。 ・そういった中で、先程区長会長さんが言われた点や、また、他の方から意見等いただいて、本当にこのルートでいくのか。例えば、もうそのまま鍋田支所の方ではなく北の方に行く等、またご意見をいただきながら決めたいと思う。
<p>高橋委員 (弥富市区長会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鍋田支所は確かに公共施設だと思う。 ・今の黎明高校。昔は鍋田中学だったと思う。土地の所有は市から黎明さんに売ったのか、その辺は分からないが、そこに高校生の大きな自転車置き場もあると思う。 ・他に、ずっと真っ直ぐ行くと新しい弥富中学校がある。今のひので小学校のところは弥富中学だったので、昔は中学校だと自転車で鍋田から通ってみえた方もいる。 ・それだと結構距離もあり、自転車だと時間がかかる。中学生、それから近鉄弥富駅まで行く場合、結構鍋田川沿いだと道が狭いということで、時間も多少かかるのではないかと。 ・それで、真っ直ぐ鎌島から平島抜けると、結構広い道なので、時間は少し早めに着くのではないかと。 ・自転車置き場とかそういうのもあるかと思うが、市の方で一度自転車置き場などを協議してもらい、やはり真っ直ぐ行った方が道路が広くて、安全性からそちらのルートの方がいいのではないかと。 ・丁度それも鎌島と、それから芝井などその辺りの真ん中であるので、1番いいのではないかと考えているが、その辺はどうか。
<p>安藤市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黎明高校という話が出たが、このバスは、南部コミュニティセンターから、朝の通勤・通学の皆さんを乗せて駅に向かうバスである。 ・黎明高校は、通学の時間帯となると、駅から黎明高校に来るという時間

	<p>になる。南部コミュニティセンターから駅へお送りした皆さんのバスが、今度また南部コミュニティセンターに帰ってくる。その時に黎明高校の生徒が乗って来れるという利点が、黎明高校にバス停を設置すればあるのではなかろうかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕方になると逆で、生徒が駅へ向かう。また駅から南部コミュニティセンターに帰ってくる通勤・通学のお客様を乗せて帰るということで、大変効率的な運行が出来るのではないか。 ・これまでにない乗車が見込めるような気もする。 ・また途中の弥富中学の生徒が、朝の通学でも使っていただけるようバス停を1箇所設置すればと思う。 ・あまり設置しますと急行便の意味が無くなるので、そのことをしばらく時間があるので、よくよく考えてルートの設定をしていけたらと思っている。引き続きご意見の方をいただきたいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今日決定していくわけではないので、色々なご意見を出していただければと思う。
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・このルートは、昔、蟹江弥富線という三重交通のバスがあった。 ・やめてから随分経つが、丁度伊勢湾台風後に蟹江弥富線が操出まで来ていて、操出から延長して加稲を通して弥富駅まで来ていた。 ・その時に、加稲を回って、細い道を。まだその頃は車もそんなに多くなかった。あちらの方から来ると、どうしても道が狭いので、すり替わるのはいいのかと思ったこともあった。 ・この道は本当に何十年経っても広くならない。危険性や安全性からいうと、今の広い道を通られた方が安全かなと思うが、そちらの住民の方々が通ってほしいという希望なら仕方ない。危険性からは広い道がいいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・急行便なので、この区間にはバス停がない。ここのバス停は飛ばしていく。 ・今のルートは、市にとって1つの拠点である鍋田支所を通過してこうという考え方かと思う。 ・しかし、やっぱり道は細くて少し危険ではないかということ。 ・三重交通さん、少しこのルート案に関してコメントがあれば、ぜひいただきたい。
水谷委員 (三重交通(株))	<ul style="list-style-type: none"> ・先程から委員の皆様から出ております堤防道路。事業者としても、道幅も狭く、特に対向車があると徐行もしくは一旦停止しないと対向も出来ない。 ・時間のロス、事故の危険性というところから、黎明高校から直進する広い道の方が、事業者として走りやすいというのは考えとしてある。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手にとっても、おそらく安全性や時間が短縮するというようなことでは、このルートもなかなか大変だというような意見かと思う。 ・南部ルートにお住いの山口さん。何か思うことがあれば、ご意見いただければと思う。

<p>山口委員 (公募委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんが言われた意見と同じようなことだが、折角通勤・通学のための急行便ということならば、今の地図の南部ルートは弥富中学校を通過して行く。中学校の少し東側。晴れの時は皆さん自転車で行かれると思うが、雨が降った場合は中学校で停まっていたらと、南部の方から行かれる中学生の利用があるのではないかと思います。 ・交通事故等の関連で、出来たら広い道を通っていた方が、安全性を考えていいのではないかと思います。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少し気になったのだが、中学生は通学でバスを使っても大丈夫なのか。 ・大丈夫。分かりました。 ・他にいかがか。 ・南部地域の方々にとって、鍋田支所飛ばしをするのはいかがなものか、そんな意見はないか。急行バスで鍋田支所に停まらないというのはどうなんだというような。 ・あまり拘り過ぎても良くないが、政策的にここが何か拠点として位置づけられるのであれば、鍋田支所を通るようなルートというのものもあるだろうし、今の利用を見込むようなことや安全性を考えると、鍋田支所の方には折れずに、そのまま真っ直ぐ行くような形。 ・市長からも話があったが、黎明高校や弥富中学校にバス停を作ってもいいのではないかということ。 ・今2期に分けてというスケジュールになっているが、当然1期でやった調査した結果を踏まえて、2期の運行内容を考えていくことになると思う。だから1期と2期でルートを変えて比較してみるということもあり得るということ。
<p>事務局 (安井課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先日、議会の方で質問があった時に、急行便の詳細を説明してもらいたいという意見があり、第3回の時の資料を基に概要を話させていただいた。 ・その時も第1期、第2期とあったもので、ルートを必ず一緒にしなければならぬというわけではなく、色々ご意見を踏まえながら、触れるように1期、2期に分けてやるという話をさせていただいた。 ・今回の資料でもお示しさせていただいている南部コミュニティセンター、鍋田支所経由という形で、第3回の審議会の時に資料として提出しているが、今度3月、今日のことだが、審議会の方でまたこの話については協議していただくので、そこで色々なご意見が出て変更になる可能性もあると、少し含みを持たせて説明させていただいているところである。 ・1回目、2回目を変えるということで、実際どちらがいいか。どちらの利便性がいかなど、そういうことも検証出来るかということ、そのための2期制かと思っている。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2期に分けていくということで、2種類のパターンをお試ししていくことは出来る。 ・他に何かあるか。 ・今回、P4、P5が実際のダイヤ案ということで、これは三重交通さんのバ

	<p>スの車両で実際に走っていただいたということか。</p>
<p>水谷委員 (三重交通(株))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、実際に。後ろにある写真の車両で。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実はダイヤ上は時間短縮にはなっていない。 ・よく見ていただくと30分かかる。 ・例えば南部の7便を見ると、10:00に近鉄南口を出て、南部コミュニティセンターに10:30なので、大体30分かかっている。 ・急行便がバス停を飛ばして行ってバス停に止まらないといっても、どのみちバスはバス停に利用者がいないと止まらない。時間的には同じくらいかかってしまうというところ。そんなところも、実際走ってみると見えてくるということはあるかと思う。 ・シャトル的な短い区間だけ運行すると増便するわけであり、利便性は確実に上がり、利用者にとっては、途中のバス停で人が乗ってきて車内が密になる心配など、そういう面では凄く使いやすいものになってくるかと思う。 ・よろしいか。 ・まだスケジュール的には時間があり、次回の6月、来年度入って最初の第1回の会議の時に、運行内容の最終案を事務局から出していただき、承認いただいて、手続きに入っていくことになると思う。
<p>事務局 (横山部長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の案で鍋田支所を回った場合は、大体30分かかると出ている。 ・そこで、委員さんの方から出ている案をもう一度作らせてもらい、今度は6月に新しい案の方で一度お示しさせていただきたい。 ・次は新しい方で一度出させていただくので、よろしく願います。そして6月で最終決定ということでお願いしたい。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の意見を踏まえて、検討していただくということ。 ・それから、先程からお話している通り、2期に分けてということなので、複数のパターンを試してみるという手はあるかと思う。色々検討していくことも大事である。 ・バスはどうしても遅れる。ご存じだと思うが。だから、結構ダイヤをギリギリに詰めてあったりする。これは運転手さんにとっても辛い状況であるが、道が空いていて早く着くと、しばらくどこかで待っていないといけない。時刻より早く出てはいけない。絶対にそれはやってはいけないこと。 ・そんなこともあり、急行で途中のバス停がないとなると、走りやすさはあるかと。ダイヤ通りに行ける可能性も高くなっていくということかと思う。 ・南部ルートの実験に関しては、引き続き検討していただく。それから、委員さんも何か地元で意見があった際は、また事務局の方に電話で伝えていただけるといいと思うので、よろしく願います。 ・後はよろしいか。 ・それでは、引き続き事務局でじっくり検討していただきたいと思う。

(4) その他

山崎議長	・その他とあるが、事務局から何かあればお願いします。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none">・現在のきんちゃんバスの利用状況について、参考資料1の利用者実態調査結果をご覧いただきたい。・2月までの実績を追加している。・上段の表が各月の利用者数、中段がそれをグラフにしたもの、下段の表が対前年度比を示したものとなっている。・全ルート計についてだが、回復傾向にあったが、緊急事態宣言発令の影響もあり2月には前年度比で約6割程度まで減少している。・次にP2の高齢者が多く買い物利用が中心の北部ルートでは6割弱。・P3の買い物や通勤・通学利用が多い南部ルートでは約7割。・P4の高齢者が多く公共施設利用が中心の東部ルートにおいては4割を切る状況にまで減少している。・次に、P5をご覧いただきたい。・東部ルートが運行する十四山総合福祉センターの利用状況を見ると、緊急事態宣言により1月15日から3月4日まで休館しており、その影響が顕著に表れているものと思われる。・今後もきんちゃんバスの新型コロナ対策の実施状況のアピールや、公共交通の安全性について、引き続き周知を図っていきたいと考えている。・続いて、参考資料2の令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価についての報告である。・昨年度の事業について、中部運輸局で実施した二次評価の結果がうら面に記載されているのでご覧いただきたい。・評価できる取り組みとして、シルバーパスやサイクル&バスライド駐輪場等の情報提供や、無料お試し乗車券による新規需要の掘り起こし、主要経路検索サイトでのダイヤ検索対応などが挙げられている。・また、期待される取り組みとして、新たに策定する地域公共交通計画に沿った事業の実施、南部地域における実証運行、福祉施策と連携した買い物支援サービスなどが挙げられている。・今後も、この二次評価結果を踏まえ、取り組みを推進していきたいと考えているので、協議会委員の皆さまには今後ともご協力賜るようお願い申し上げます。・続いて、買い物支援サービスについて先日書面決議にご協力いただきありがとうございました。2月9日に愛知運輸支局に自家用有償旅客運送の登録の申請を提出した。4月1日から本格運行を予定している。・また、令和2年11月9日から令和3年2月26日までの実証運行の件数は46件となっており、稼働車両はプリウスPHVが30回、シエンタが16回であり、利用会員の実人数は5名、協力会員の実人数は5名となっている。・最後に、当日配布の環境省スマートムーブ資料について説明する。・今年2月2日に環境省スマートムーブのWEBサイトで、きんちゃんバスのサイクル&バスライド記事が掲載されたので、記事の内容を資料として

	<p>配布させていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上となる。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・色々情報をいただいた。 ・利用実態調査結果はやはり大きく減っているという状況にあるということ。 ・十四山の東部ルートは、十四山総合福祉センターが閉館していたということが大きくきいている。その利用者がやはり多い。 ・十四山でこの会議をやっていた。本庁舎が建設中で、十四山で会議をやっていた時に、私も東部ルートに乗ったが、施設からお婆ちゃん達が乗ってきて、バスの中でも楽しそうにコミュニケーションしている状況を見ることが出来ていた。 ・利用者は少ないが、高齢者にとって非常にいい路線だという印象。 ・それから、中部運輸局の二次評価。厳しい先生方が、厳しく評価して下さるものだが、概ね今後に期待していただいているので、その期待に応えるようにしっかりやっていきたいというところだと思う。 ・スマートムーブ。環境省の取り組みの中で、きんちゃんバスのサイクル&バスライドという仕組み。自転車置き場とバス停をセットにして、自転車置き場まで自転車で来てバスに乗るという使い方をここで紹介していただいている。 ・なかなかオシャレな記事に仕上がっていて、いいきんちゃんバスのPRになるので、ぜひ市民の方々にこういうことをやっているのだと、皆さんお知らせいただければと思う。 ・何かご意見、ご質問あれば、どこでも結構なので願います。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料1「利用者実態調査結果」だが、昨日、大府市と豊川市の公共交通会議に出席しており、弥富市さんの数字は、大府市の数字と近い。3割減。7割くらいの戻りの状況。豊川市についても、それに近い状況で、路線によっては非常に厳しい。 ・弥富市さんの方でもあった公共施設が閉まっていたところで、結構マイナスな状況になってしまったところもあるかと思う。 ・地域によっては、あまりコロナの影響を受けていないところもあり、南知多町は9割くらいが戻っていて、あまりコロナの影響を受けていない。そのような地域もある。必要な外出は必要として、皆さんバスに乗られているというような地域もある。 ・参考資料2の二次評価について。弥富市さんについては、概ね会議で色々議論されていたことの報告の意見かと思う。 ・傾向としては、日頃の利用者の分析等そういったところをしっかりとやられていない地域については、非常に厳しい二次評価結果になっていくところもあった。 ・全体の中で出来たらというところで、来年度6月が第1回の会議だと思うが、今回の協議会の議題という形で、(1)から(4)とあるが、協議が必要なところと、報告で終わるところを分けて、分かりやすく書いていた

	<p>だけるとありがたいと思う。来年度の最初の会議からよろしく願います。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・色々ご意見いただいた。 ・近い状況のところもある。普段の利用の状況からも、生活必需の移動で主に使われているようなところだとあまり減らなかった。9割くらい戻ってきているところなのかと思う。 ・議題も協議事項と報告事項と書いて分けておいた方がいいということ。 ・今の意見に、事務局からはいいか。
事務局 (富居)	<ul style="list-style-type: none"> ・議題については、対応させていただく。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・多田さん、願います。
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・今、中央政府において、新しい交通政策基本計画の作成をしている段階であり、3月29日には中間の取りまとめが行われ、おそらくもう1回くらい委員会を経て、最終的に閣議決定がされるだろう。 ・こういう重い計画である。その内容は、全国どこの地域の皆様方も、当然基本計画を参考にさせていただくということが出てくると思うので、この基本計画の作成の方向について、ぜひ関心をお持ちになっていただきたい。 ・これは厚かましいお願いになるが、冒頭、安藤市長様の方からワクチン接種の話があった。ワクチン接種の考え方については、中央厚労省政府そのものの、タクシーの役割の中で大変期待している部分があるというような国会答弁もある。 ・具体的には、かかりつけ医で接種をしていただく場合、また会場で集団接種をしていただく場合、いずれの場合も安全に、また安心して接種が出来るよう、ぜひ考えていただきたい。このようなことも言われている。 ・もう1つは、ワクチンというのは、冷凍で-75℃で保管をしないとイケない。開封をすると5日くらいしか使えないというようなことも聞いている。 ・要するに開業医や集団接種の会場で接種する場合は、接種状況。人数や何回接種するのかと。その回数に応じて、配送計画が必要になる。 ・その配送にあたって、タクシーは使えると。ただし、制約がある。 ・運転手、ドライバー等、ワクチンだけではダメというのが、1つの制約になっている。 ・薬を運ぶ専門的な知識を持った方。医療従事者であったり、そういった方々がワクチンを荷物として一緒に乗車していただく。人とワクチンと一緒に利用する。こういうことが結構だということを言われているので、ぜひそういったものについても、弥富市さんで今後検討をいただければと思う。よろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な情報をありがとうございます。国の動き、国の基本計画にも、事務局はきちんとアンテナを伸ばして、情報を入れていくようにしていこうということ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種でのタクシー活用という話があったが、事務局としていかがか。市長はどうか。
安藤市長	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭で申したが、集団接種はこちらの保健センターで。また個別接種は18の開業医でお願いするということである。 ・-75℃の冷凍状態から取り出して、それぞれの開業医にお持ちするわけだが、開業医はそれぞれ冷蔵庫を持っていることが前提である。 ・そこで5日間の有効というか、ワクチンの方が利用いただけるということであるので、その辺の無駄にならないような状況で、市としても接種に努めていく。 ・普段予約状況によっては、また変わってくるものだが、注意を払いながら、接種を進めて参りたいと思う。 ・そのような中で、接種される方のタクシー利用。また、ワクチンの配送のタクシー利用については、今後、市の方で検討させていただきたいと思う。よろしく願います。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種については、人を運ぶという話。それからワクチンそのものを運ぶ話があると思う。 ・愛知運輸支局では、ワクチン接種の輸送に関する窓口を設置している。 ・いくつかの自治体からも、こういう形でやったらいいのか、悪いのかというようなご相談もいただいているので、また何かあればお気軽にご相談いただければと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸支局さんの方も動いているというところもあり、私が知っている限りでは、高浜市と日進市が先にやっている。
上井委員 (愛知運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜市は既にご相談いただいている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・高浜市がやるという話を聞いている。 ・バスを使って、無料乗車券を配り、ワクチン接種にこれで来て下さいというような取り組みをやろうと。この4月から配るようなこともやっている。 ・他の自治体でも、そういうことを考えているところもある。 ・その中で、もしかしたら高齢者のワクチン接種に行くにあたっては、タクシーを活用するというのは1つあるかという気はする。 ・ワクチン接種の時限定の補助券みたいなタクシー料金が半額になるような、市が負担することも考えてもいいのかと。 ・財政面では辛くなってしまうかもしれないが、そんなやり方も1つあるかもしれない。 ・他にいかがか。 ・それでは、ご発言いただいている遠藤さんと服部さん。何か一言ずつご意見いただきたいと思う。
遠藤委員 (民生・児童委員 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・先程お話があった、ささえあいセンターによる買い物支援サービス。 ・福祉センターに行くと、1台は車庫に入っているが、1台は常時動いている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ どういうふうにするか知らない方が多いので、民生委員会としては、事業内容の中にささえあいセンターの方に来ていただいて、説明していただき、また民生委員もそれを把握して、一人暮らしの人に宣伝し、繋いでいけたらと思っている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括的に皆で支え合っていくというところであるので、ぜひよろしくお願いする。 ・ 服部さん、何かあればお願いします。
服部委員 (弥富市女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部地域における多くの社会実験等をやっけていただいて、少し道が開けてきたかと思うが、これからは高齢者ではなくて、通勤・通学というのも含めて、小学生や中学生。過疎化で危険な地域。トラックが凄く多い。小さい子供達にも目を向けて利用出来たら。まだ先のことだと思うが、小さい子供を持つ家族としては、そういうことも出来たらと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な意見だと思う。今回、南部でやるのは通勤・通学であるから子供も含めて、通勤・通学という一定の利用があるような移動を対象にしている。 ・ でもそうではなくて、子供達が塾に行ったり、子供を見守りながらというような交通手段が何かあると安心出来るし、便利だということだと思う。 ・ こういうものをタクシー事業者が、色々積極的にやっている事業者もいる。 ・ 私が関わっている豊田市の山奥の下山というところの下山タクシーという個人のタクシー会社があるのだが、自分でチラシを作って、「見守りサービスをやっています」みたいな感じで。 ・ メーターではなく、いくらというふうになっている。 ・ 1回の貸切で、買い物のサービスや、子供を塾に運んでいくのにいくらでやりますなど、そんなこともやっているタクシー事業者もいる。 ・ そういう部分でタクシーを活用していくというのも、1つの施策として考えていくのも面白いと思う。 ・ ご意見、ご質問、全体を通して、他によろしいか。 ・ ご協力ありがとうございます。本日の議事は全て完了したので、事務局の方にマイクをお返す。

4.閉会

事務局 (安井課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日はありがとうございました。 ・ 今回の会議で令和2年度最後の協議会となる。 ・ 委員の皆さまには、令和元年度からの任期2年間、合計8回の協議会にご協力いただき、ありがとうございました。 ・ 次回、令和3年度に入り、6月に第1回目の協議会を予定している。 ・ 日程が決まり次第改めてご案内するので、よろしくお願いする。 ・ 以上をもって、令和2年度第4回弥富市地域公共交通活性化協議会を終了させていただく。今後ともご協力賜るようお願いする。
	以上